

## 原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成31年2月26日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

### <本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長 それでは、お手元の広報日程に基づいて、私から補足説明をさせていただきます。

まず、1ページ目、1. (1) 第62回の原子力規制委員会定例会が、2月27日水曜日午前中に開催される予定でございます。議題は4件予定されております。

まず、議題1「東京電力福島第一原子力発電所の中長期リスクの低減目標マップ（平成31年2月版）（案）等について」。こちらの内容ですが、いわゆる1Fの中長期リスクの低減目標マップ、こちらにつきましては、廃炉作業の進捗に応じて見直しを行ってきているところでございますが、今般、平成31年2月版としての改定の案を、事務局において1F検討会での議論を経て用意をいたしましたので、こちらの内容を説明し、委員会で議論をいただくというものでございます。

次に、議題2「兼用キャスクの改正案とRFSの審査方針における要求事項の整理－貯蔵建屋損傷時におけるキャスクの機能維持の考え方等について－」。こちらの内容でございますが、先般2月6日の委員会におきまして、RFSのリサイクル燃料備蓄センターの審査の方針について委員会で議論を行いました際に、貯蔵建屋が損傷した場合における要求事項について、このRFSの審査方針と兼用キャスクの規則等の改正案に違いがあるので、整理の要否を検討する必要があるという指摘が委員会でございました。これを受けまして、これら両者の要求事項の違いについて整理を行いましたので、これを御報告し、今後の方針について審議をいただくというものでございます。

次に、議題3「ウランのクリアランスに関するIAEA安全基準について」。こちらは1月初めの委員会におきまして本年の重点事項について議論を行った際に、ウラン廃棄物を含む放射性廃棄物の規制基準の整備、また、クリアランスの合理的確認方法の構築などが重点課題として挙げられたところでございます。これを受けまして、今後、ウランのクリアランスについて検討を進めていくに当たりまして、IAEAの安全基準の考え方を調査し、これに関する論点を事務局において整理いたしましたので、これについて説明し、委員会で議論をいただくというものでございます。

次に、議題4「原子力施設に係る平成29年度放射線管理等報告のとりまとめ資料の訂正

について」。こちらは昨年10月に公表いたしました本件資料、平成29年度放射線管理報告に関するとりまとめ資料に関しまして、誤りがあったということについて、先般2月6日の委員会で御報告をしたところでございます。その後、全体を確認し、誤りについて整理を行いましたので、その結果を報告し、また、今後の対応について、委員会にお諮りをするというものでございます。

次に、広報日程の3ページ目でございます。2ページ目については、追加情報はございません。

3ページ目の上段、(5)第688回の審査会合が、こちらは日程としましては、2月28日木曜日の午後に開催されるという予定になっております。議題、審査の対象は1件予定されております。

東北電力・女川発電所2号炉についての新規規制基準適合性の許可に係る審査でございます。内容といたしましては、重大事故対処設備の保管場所及びアクセスルート、また、格納容器の破損防止対策、これらについて、いずれもコメント回答が行われる予定でございます。

次に、同じく3ページ目の中段になります。3月1日金曜日、(7)第690回の審査会合、こちらについてでございます。議題は記載のとおり、東北電力・東通原子力発電所の地震等に係る事項の審査が予定されております。こちらは前回の審査会合が10月19日でありましたので、その後の検討状況について、事業者から聴取をするという予定でございます。敷地周辺の地質構造や津波評価についての説明があるという予定でございます。

次に、下段になります。同じく3ページ目です。3月4日月曜日、(9)第7回震源を特定せず策定する地震動に関する検討チーム、こちらが午前中に開催される予定でございます。

こちらは、まず、議題1としまして、これまでの会合の議論を整理した上で、議題2において具体的な議論が行われる予定でございます。内容は、対象記録の検討結果、こちらは89の地震動について分析をするということに前回なっていたところでございますが、その検討及び分析の結果を報告するとともに、これを踏まえて標準応答スペクトルの案、事務局として検討した案についてお示しをして、この検討チームにおいて議論が行われるという予定でございます。

次に、4ページ目上段、(10)第262回の核燃料施設等に関する審査会合が、こちらは同日3月4日の午後に開催される予定でございます。議題は、記載のとおり、日本原燃の廃棄物埋設施設に関する審査が予定されております。内容といたしましては、異常時の放射線障害の防止、また、外部からの影響による損傷の防止などについて審査が行われる予定でございます。

次に、その下、(11)第24回検査制度の見直しに関するワーキンググループが、同じく3月4日の午後3時から開催される予定でございます。

議題は記載のとおりでございますが、まず、議題1として、原子力規制検査におけるス

クリーニングについて、また、議題2として、検査ガイドの試運用版の見直しについてということで、いずれもフェーズ1の試運用を踏まえて、フェーズ2に向けたガイドなどの改善について議論が行われるという予定でございます。

私からの御説明は以上です。

#### <質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。ドイさん。

○記者 電気新聞のドイです。

3月4日の震源を特定せず策定する地震動の検討チームのことでお聞きしたいのですが、これは特にこの議論の中で異論がなければ、取りまとめということになって、後日、委員会に諮るような、そんなイメージというふうに理解してよろしいのでしょうか。

○大熊総務課長 こちらはまだ検討・分析の結果を説明して、検討途上として事務局としての案をお示しして、この場で議論するというところでございますので、この場でまとまるというより、もうしばらく議論があるのではないかというふうに事務局としては考えてございます。

いずれにしても、最終的にこの場で整理したものをどう規制に反映していくか、これは当然、今御指摘があったように、委員会での議論ということになります。

○司会 ほか、ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—